

e-ビーフNEWS 北の牧場から

October 2020

十勝はいつの間にか秋

木々の葉っぱが、黄色に変わり景色全体が秋になってきました。今年の季節の変わり目がわかりませんね。十勝では珍しい残暑が盆明けから続いたのも影響しているかな。ここ数日は、朝の気温もひとけた台となり、下露で庭はびっしり濡れています。

農作業も例年より早く動いています。馬鈴薯から豆へ、2番牧草からデントコーンへ移り変わってきました。天気との勝負です。雨と風、気になる日々が続きます



活動のお知らせ

10/29(木) ……………帯広市 北海道畜産公社 第10回北海道肉専用種枝肉共励会

10/29(木) 13:00-17:00……………とかちプラザ(帯広市)2階 視聴覚室

第17回資源循環型肉牛生産シンポジウム2020/日本産肉研究会第26回学術集会

シンポジウムテーマ「新型コロナウイルス感染症パンデミックの経験を乗り越えて次の畜産を考える

～これからの新しい社会システムにおける畜産の生産、販売及び消費を見直す～

※参加者制限:収容人数1/2の80人 なお、状況によっては中止の可能性もあります(チラシの表紙記載)

NEWSばか読み

- 世界株の時価総額が過去最高の9400兆円9/2:金だけが動く
- 農林水産省 コメ需要が22万T減 急拡大進む9/2:変化が速い
- ユニチャーム 国産マスクを東南アジアに輸出9/2:余裕かヘッジか
- 山口県 放牧牛の遠隔監視システムの構築へ9/3:実用化なれば期待
- OIE(国際獣医事務局)日本の豚熱 非清浄国に変更9/3:仕方がないか
- 鶏卵価格の低迷続く 業務筋の低迷続く9/3:外食復活がカギ
- SOMPO 大手米国農業保険会社を買収 世界的な気候変動対応9/5:グローバル化
- 米国の個人消費が停滞 ホームセンター、スポーツ用品が好調 在宅需要9/5:日本同様
- ウシオ電機、広島大学と紫外線でコロナ不活性化9/5:
- 北海道 酪農家の73%が自家発電機設備導入9/5:対応が進む
- 兵庫県 六条麦2年連続で大豊作 販路に苦慮し飼料用模索9/7:自給率飼料確保
- FAO 世界食糧国際価格がコロナ禍で最高値9/8:しわ寄せが
- 農研機構 加工用米 年間1.4T/10a高収穫 年間二期作9/9:これはすごい
- セブンイレブン コンビニ宅配を1,000店に拡大9/10:業態の変化
- 鳥取県 和牛遺伝子保護条例を施行 知的財産を明記9/11:和牛先進国は早いね
- JA三井リース スマート農機具を共用化 リースとシェア化を図る9/15:よりやり易く
- 環境省 データセンターを寒冷地設置支援 冷却エネルギー削減9/15:地域を使う

- 厚労省 100歳以上8万人に9/16:そこまで生きたら
- 日立 再エネ台頭で英国原発から撤退9/17:風を見る
- EU 30年目標に温暖化ガス50%削減を明記9/17:日本も目標を
- JA全農 国産品原料加工品に「ニッポンエール」ブランド表示9/18:
- 国連事務総長 コロナ禍を機に温暖化ガス削減を9/18:自然の意志でもある
- 米国研究グループ 健康慣習が多いほど認知症リスク低下9/18:なるほど
- 農林水産省 畜産部を局に格上げ9/19:いろいろ頼まない
- コロナ感染者 世界で3000万人超え 死者新興国で増加9/19:深刻さ増す
- 農業就業者 高齢者比率が52% 業種別では最多9/21:年寄りが頑張らないと
- 千葉いづみ市 学校給食に地元育ちの有機米を週4回全量採用9/21:政策しっかり
- 中国がコメの輸出に浮上9/22:基盤しっかり
- 厚労省 インフルエンザ患者が昨対1/1000と激減9/22:コロナ効果
- 牛原皮 東京市場10円/頭と最安値 需要激減9/23:いろんな影響
- FAO アフリカで食糧危機深刻 気候変動、パッタ、コロナ等9/24:弱いところに集まる
- 農林水産省 バター輸入枠 業務用低迷で初の縮小 国産切り替え促す9/26:輸入
- 群馬県 豚熱再発 ワクチン接種継続地で初9/28:衛生マニュアル徹底を
- ジビエ利用 コロナ禍で伸び悩む 豚熱、コロナ禍が逆風9/29:ヘッジを
- 外食業界 業態転換を加速9/30:ウィズコロナ

東京直近NEWS (9/30 Shi-REPORT)

ホルス

ホルス相場は低調変わらず。建値相場では、産地相対仕入対応難しく買い支え行っている状況。単品パーツはロイン不調から各社余剰多く特売行い、10月単月は余剰なしにシフト。年末に向けての動きが課題。赤身・切落し関係は一定需要維持も、売価が上がらない。冷凍パーツも原料需要が一服しておりやや鈍化傾向。節約志向は変わらず、年末需要期への引合や同行は不透明続く。

経産牛

経産牛相場は依然高値維持しており、ホルスとの値差が縮小。挽き材関係は需要持しており、節約志向と内食増加から引き合い強いま。挽き材在庫は慢性的な不足状況変わらず、枝相場の高騰からコストも上昇継続。逆にパーツ需要は停滞しており、ロイン関係は販売不振。赤身系も加工原料需要が伸びず引き合いは落ち着いている。枝相場の高騰に落ち着きが見えず、生乳不足から枝相場の下げ要素がない。

1. 畜産技術#784.2020.9

1) 牛ロース芯への新適応二値化処理を用いた画像解析によるBMSの判定(口田圭吾他、帯畜大) e-びーふNews

#73に日畜会報掲載の同名の論文を紹介しましたが、牛ロース芯のBMS判定における新適応二値化処理は肉色の濃淡や枝肉撮影時の照明の反射による過小評価の改善とBMS推定精度の向上に有効との趣旨です。二値化処理は閾値より輝度が高いと脂肪、低いと筋肉としてロース芯を区分して認識することが判定の原点で、脂肪交雑判定に適切な二値化は全体的な画像ではなく、ロース芯内部に限定した画像情報に脂肪交雑のあらし指数やロース芯面積で補正して脂肪面積割合等からBMS判定をします。

2) 座談会最終回「食肉のおいしさについて～牛肉を中心に～」(入江正和:家改セ、益山初男:日山、佐々木啓介:農業・食品総研機構、片平梨絵:トップフィールドマーケティング、南波利昭:畜技協、柴田正貴:畜技協)

総合討論の焦点は牛肉の香りや匂いでおいしさの大切な要因です。これらの科学的説明は進んでいるものの和牛肉の匂いのキーコンパウンドは未知で、溶解易さと香りの関係など複雑な要素が絡み、成分分析や脂肪酸組成と含量だけでは万人共通のおいしさの指標にはなり得ず、特に和牛肉のおいしさの研究は細胞農業や培養肉の開発が進む世界を意識した多角的な課題です。しかしながら、日本固有品種の和牛の育種改良や飼養技術への発展には万人共通の意識を

外した大学や研究機関、地域組織の総掛かりで取り組むことが必要です。

2. 日畜会報Vol.91,(3)

1) 黒毛和種去勢牛への破砕飼料用米給与が発育、飼料利用性ならびに産肉性に及ぼす影響(中西良孝他、鹿大)

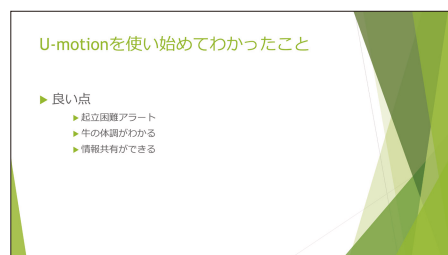
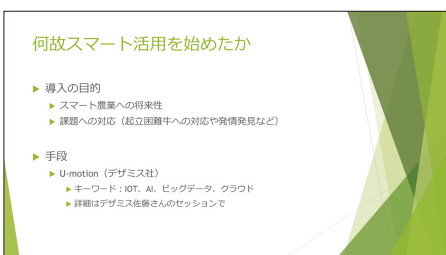
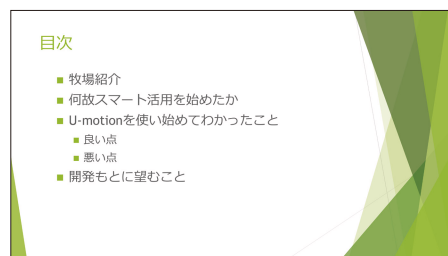
黒毛和種去勢牛を11～28か月齢まで破砕飼料用米(破砕玄米:破砕籾米=7:3)を配合飼料の5%～25%まで段階的に増す代替え給与して、配合飼料以外は対照区と同じ発酵TMRと稲わらで肥育しました。試験期間中の増体成績や飼料要求率、第一胃内pH、血液性状、枝肉成績等いずれも有意な区間差はなく、この範囲内での配合飼料と破砕飼料用米との代替えは可能と思われました。

2) 肥育牛における糞尿中へのクロピラリド排泄(神谷裕子他、中央農研セ)クロピラリドは日本では農薬登録されていない除草剤で米国、豪州カナダからのイネ科輸入牧草、濃厚飼料原料となる小麦フスマや大麦効を介して肥育牛糞の堆肥中に残存し、ミニトマトなどの生育障害を起こす場合があるとされています。配合飼料に1mg/kgのクロピラリドを添加し、5日間の消化試験を行いました。試験中のクロピラリド摂取量は4.7mg/日でこれまでの乳牛の試験よりも低いものの、肥育牛でも摂取・吸収されたクロピラリドは体内で吸収されず糞尿中に排泄され、9%が糞中に、91%は尿中に排泄されました。

資源循環型肉牛生産シンポジウム 2019

話題提供3.「IoT技術の肉牛生産への活用事例」全5回シリーズ④

(株)デザミス研究開発部、藤谷牧場



転載・再利用は固くお断りします